

飛鳥 高等学校 令和8年度（1年次用） 教科

国語 科目 現代の国語

教科：国語

科目：現代の国語

単位数：2 単位

対象学年組：第1年次 1組～6組

使用教科書（『現国143-901 ちくま現代の国語』（東京書籍））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代の国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、読書に親しむことで自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとしており、言葉を通して積極的に他者や社会に関わったり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域		評価規準	知	思	配当 時数
		読	書				
A 単元 第1章 聞くことと語ること 問ひかける力を伸ばす 【話すこと・聞くこと】	教材：『私たちになぜヒーローが必要なのか？』 ①本文を参考にしながら、過去の自分にとってどのような人物・キャラクターが「ヒーロー」だったか、ノートに書き出す。 ②数人のグループで、①で書き出した「ヒーロー」について互いに紹介する。その際、なぜその人物やキャラクターが「ヒーロー」と感じられたのか、自分の考えを説明する。 ③グループで紹介し合ったことを基に、「私にとってのヒーロー」というタイトルでスピーチをする。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	a (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 「ヒーロー」という言葉を通して、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 (2) 情報の扱い方に関する事項 「私にとってのヒーロー」というスピーチを通して自分の主張を行う際に、主張と論拠など情報と情報の関係について理解することができている。 (3) 我が国の言語文化に関する事項 「私たちになぜヒーローが必要なのか？」という問いかけから、実社会との関わりを考えるため、とりわけ「物語」や「小説」といったフィクションが私たちの生活を支えるために必要不可欠であることを理解し、読書の意義と効用について理解を深めている。 b 【話すこと・聞くこと】 ア) 目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討することができる。 イ) 自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開や考えなど、話の構成や展開を工夫すること。 c 教材の内容に関心を持っている。(発問・授業時の態度) / 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	6
B 単元 第2章 ことばは世界をつくることばの働きを確認する 【書くこと】	教材：『ことばとは何か』 ①日本語にあってほかの言語にはない名詞にはどのようなものがあるか調べ、互いに発表する。 ②他の言語における気象用語に関して、日本語とは「含まれている意味の厚みや奥行きが違う」例をグループで調べ、それぞれ発表する。 ③関心のあるテーマの一つを選び、具体例や比喩を用いて400程度程度の文章を書く。書き終わったら互いに発表する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	a (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 言葉について書かれた本教材を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。とりわけ、言語の「差異化」「分節化」という働きについて理解している。 (2) 情報の扱い方に関する事項 本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 (3) 我が国の言語文化に関する事項 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。 b 【書くこと】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c 教材の内容に関心を持っている。(発問・授業時の反応) / 「ことばとは何か」ということに関心を持っている。(発問・授業時の態度) / 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	7
1学期 定期考査		○	○		○	○	1
C 単元 第2章 ことばは世界をつくることばの働きを確認する 【書くこと】	教材：『羅生門』 ①読み手に臨場感が鮮明に伝わる報告文(ルポルタージュ)を書くにはどのような工夫が必要か考える。 ②自分の印象に残った体験、あるいは見聞した出来事などを題材に、報告文(ルポルタージュ)を書いて発表する。 ③発表された文章の臨場感について、感想を述べ合う。	○	○	a (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 「羅生門」という言葉を通して、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。とりわけ、「下人と老婆との対話を通して、「盗人になるか」「飢え死にするか」という「境界線上」にいた下人が、「境界線」を引き直すことになるのはなぜか、小説の論理の展開を理解している。また、小説の舞台が「境界線上」に描かれていることとどのような効果を引き出しているか、考察を深めることができる。 (2) 情報の扱い方に関する事項 本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 (3) 我が国の言語文化に関する事項 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。 b 【書くこと】 目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c 教材の内容、他者との関係、小説のもつ「論理性」に関心を持っている。(発問・授業時の態度) / 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	8
D 単元 第3章 主張を読み取る新しい視点を手に入れる 【読むこと】	教材：『システムと変異』 ①本文中の図解を参照しながら、DNA複製について本文に書かれていることを、筆者の用いたキーワードを使って説明する。 ②筆者が「」をつかって表現しているのはなぜか、話し合う。 ③本文におけるキーセンテンスをノートに書き出し、周囲の人と見せ合って確認する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	a (1) 言葉の特徴や使い方に関する事項 キーワードやキーセンテンスを読み取り、言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 (2) 情報の扱い方に関する事項 本教材を通して、主張と論拠など情報と情報の関係について理解している。 (3) 我が国の言語文化に関する事項 実社会との関わりを考えるための読書の意義と効用について理解を深めることができている。 b 【読むこと】 評論文という文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確の捉え、要旨や要点を把握することができる。 c 教材の内容に関心を持っている。(発問・授業時の反応) / キーワードやセンテンスの読み取りに関心をもっている。(発問・授業時の態度) / 発表の態度は積極的で、ほかの人の発表も注意深く聞き、ものの見方、感じ方、考え方を深めようとしている。(授業時の反応)	○	○	7
定期考査		○	○		○	○	1

飛鳥 高等学校 令和8年度（1年次用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1 年次 1組～ 6組

使用教科書：（『探求 言語文化 改訂版』（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めようとしている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 時 数	
		読 書	書 読	話						
A 単元 古文入門／【児のそら寝】 【知識及び技能】 ・古語と現代語の違いを理解する。 ・句読点に注意しながら、正しく音読する。 ・歴史的仮名遣いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・傍訳と脚注を参考にしながら、本文の内容を正しく理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・古文を学習する意義を理解し、古文や古文に描かれた世界に関心を持つ。	①古文の基礎知識（歴史的仮名遣い、品詞） ②『宇治拾遺物語』「児のそら寝」など ・古語と現代語の違い。 ・音読。 ・歴史的仮名遣い、 ・本文の内容理解。 ・児の心情読み取り。 ③動詞の活用（四・上一・下一・上二・下二） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 知歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。 【知】 知古語辞典の使い方理解している。 【知】 知重要古語の意味を理解している。【思】 傍訳と脚注を参照しながら、他者の一連の行動、児の心理の推移などの内容を理解している。 【思】 「児のそら寝」の話のおもしろさについて考え、自分の意見を述べている。 【語】 翻案の手順に従って、「児のそら寝」に基づいた物語を工夫して書いている。 【思】 本文の内容に基づいて、児の心情を「心の中のつぶやき」の形式で表現している。主観語を参考に、積極的に音読している。 【能】 現代語にはない語や、現代語とは意味の異なる語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 【能】 現代語訳に取り組み、説話の内容を理解しようとしている。 【能】 この話のおもしろさについて、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	○	13
定期考査									1	
B 単元 漢文入門／【論語】 漢文の基礎 【知識及び技能】 ・漢文の構造と訓読の方法について理解する。 ・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・「怒」「直」という言葉の意味と由来を理解する。 ・漢語の構造に日本語と語順が同じものと語順が異なるものがあることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・漢文訓読によって出来上がる「漢文脈」について認識する。 ・頻出する漢文の基本構造について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文を学習する意義を認識する。 ・登場人物や時代背景に注意しながら内容を理解する。	①【論語】「子貢問曰」（衛霊公）「葉公」（子路）「子貢問政」（顔淵）など ①漢文入門 ・漢文を学習する意義。 ・漢文の構造と訓読の方法。 ・漢語の構造理解。 ②論語 ・訓読。 ・言葉の意味と由来の理解。 ・内容理解。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。 ・音読、現代語訳。 ・「ば」の用法など、古典文法の基礎。 ・「怒」とは何か、孔子の考え方を知る。 ・葉公と孔子の「直」についての、それぞれの考え方を知る。 ・孔子が政に重要だと考えているものは何か、知る。 ③動詞の活用（四・上一・下一・上二・下二） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 「漢文」とは何かを理解している。 【知】 日常生活で使う漢語について、その構造を理解している。 【知】 漢和辞典の使い方理解している。 【知】 送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 【知】 書き下し文の決まりや置き字について理解している。 【知】 主な再読文字の読みと意味について理解している。 【知】 主な返読文字について理解している。 【知】 漢文特有の構造について理解している。 【思】 漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 【思】 場面と登場人物の言動を整理し、登場人物の意見について自分の考えを述べている。 【能】 範読を聞き、書き下し文を参考に、積極的に音読している。 【能】 日常使う漢語、格言、成句の意味を漢和辞典で調べ、その由来を調べている。 【能】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。 【能】 「怒」や「直」という言葉の意味を漢和辞典を用いて調べている。 【能】 孔子の考え方や、葉公と孔子の意見の相違について、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。	○	○	○	○	6
C 単元 徒然草／【奥山に猫またといふもの】 【知識及び技能】 ・正しく音読し、脚注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・古典文法の基礎を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・主題を理解し、時代背景や当時の倫理観を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動や心理、または作者の考えなどを的確に捉え、章段のおもしろさを理解する。	①『徒然草』「奥山に猫またといふもの」 ・音読、現代語訳。 ・古典文法の基礎。 ・文章の内容を、構成や展開に即して捉える。 ・主題理解。時代背景や当時の価値観を読み取る。 ・登場人物の行動や心情、または作者の考えの理解。 ②動詞の活用（カ変・サ変・ナ変・ラ変） ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 言葉のまとまりを的確に押さえて、正しく音読している。 【知】 重要古語の意味を理解している。 【知】 文法事項を理解している。 【知】 脚注を参照しながら、話の展開を理解している。 【思】 古語の意味を理解し、主題を明らかにして、正確に現代語訳している。 【思】 登場人物に関する心情や訓戒等を理解し、顛末について考えている。 【能】 範読を参考に、積極的に音読している。 【能】 現代語にはない語や、古今異義語の意味を、古語辞典を用いて調べている。 【能】 脚注を参考にしながら、随筆の内容を積極的に理解しようとしている。 【能】 話の特徴を理解し、現代の人々との違いについて積極的に考えている。	○	○	○	○	6
定期考査									1	
D 【枕草子】【九月ばかり】 清少納言 話の展開や主題の把握など、随筆を読む基本的な方法を習得する。 ・古文を正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ・表現に即して的確に読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・独自の視点について考察し、表現上の効果捉える。 ・章段の表現的特徴と主題を的確に読み取る。	【枕草子】 清少納言 ・話の展開や主題の把握など、随筆を読む基本的な方法を習得する。 ・登場人物の心理や行動の意味を、表現に即して的確に読み取る。 ・作品独自の視点について考察し、表現上の効果について考える。 ・音読、現代語訳。 ・古典作品と近代以降の文章の関わりを理解し、各作品の表現的特徴と主題の読み取り。 ・形容詞・形容動詞の活用 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 全文を正しく音読している。 【知】 作者への理解を深めている。 【知】 歴史的仮名遣いを理解したうえで、本文を正しく音読している。 【知】 重要古語の意味を理解している。 【知】 日本の随筆についての文学史的知識を身に付けている。 【思】 環境の捉え方を的確に読み取っている。 【思】 筆者独自の視点について理解している。 【思】 作品の主題について考察している。 【思】 脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】 主題を理解し、清少納言の独自性について的確に捉えている。主本文中の難解な語句や表現を古語辞典などを用いて調べている。 【能】 清少納言とその作品について知っていることを発表するなどして、教材への関心を高めている。	○	○	○	○	7

<p>E 単元 『戦国策』 [漁夫之利]</p> <p>【知識及び技能】 ・漢文の構造と訓読の方法について理解する。 ・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・「漁夫之利」という言葉の意味と由来を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・両者が言い争った結果、何が起ったかを理解する。 ・頻出する漢文の基本構造について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文を学習する意義を認識する。 ・登場人物や時代背景に注意しながら内容を理解する。</p>	<p>① 故事成語 ・書き下し文の方法。 ・漢文の構造と訓読の方法。 ・漢文の文脈理解。</p> <p>② 漁夫之利 ・訓読。 ・言葉の意味と由来の理解。 ・内容理解。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>		<p>【知】 漢和辞典の使い方を理解している。 【知】 送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 【知】 書き下し文の決まりや置き字について理解している。 【知】 漢文に特有の語や、仮定形の句形について、その読みと意味を理解している。 【知】 「漁夫之利」という言葉の意味と由来を理解している。 【思】 書き下し文を参照しながら、漢文を正しく音読している。 【思】 訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 【思】 置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を現代語訳している。 【思】 漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 【思】 脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】 場面と発話者の言動を整理した上で、結果的に何が起ったか把握している。 【能】 範読を聞き、書き下し文を参考にして、積極的に音読している。 【能】 日常使う漢語、格言、成句の意味を漢和辞典で調べ、その由来を調べている。 【能】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。 【能】 「漁夫之利」という言葉の意味と由来を漢和辞典を用いて調べている。</p>				6
<p>定期考査</p>							1
<p>2 学期</p> <p>F 単元 『伊勢物語』 [芥川]</p> <p>【知識及び技能】 ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・助詞や助動詞など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 ・敬語表現の概要について理解する。・和歌の修辞技法への理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・和歌の修辞技法への理解を深める。 ・歌物語における和歌の役割を理解する。 ・本文の展開や和歌の解釈に留意して内容を理解し、当時の社会のありさまや登場人物の心情を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の行動やその背景にある心情について、自分の考えを発表したり文章で表現したりできるようにする。</p>	<p>① 『伊勢物語』 「芥川」 など ・音読、現代語訳。 ・助詞や助動詞など文法事項への理解、内容把握。 ・敬語表現の概要理解。 ・和歌の修辞技法。 ・歌物語における和歌の役割。 ・当時の社会のありさまや登場人物の心情を捉える。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>		<p>【知】 全文を正しく音読している。 【知】 重要古語の意味を理解している。 【知】 助動詞「らむ」、助詞「さへ」、「なむ」の識別、基本的な文法事項を理解している。 【知】 歌物語における和歌の役割を理解している。 【知】 和歌の修辞技法（序詞・掛詞・縁語・折り句）を理解している。 【知】 文学史的知識を身につけている。脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】 登場人物の関係や物語の展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 【思】 範読を参考にしながら、積極的に音読している。 【思】 重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 【思】 周りの意見に耳を傾けながら、積極的に話し合っている。 【能】 『伊勢物語』 全体の構成・内容について関心を持ち、調べている。 【能】 歌物語の系統を引く作品に関心を持ち、調べたり読んだりしている。</p>			7	
<p>G 単元 『十八史略』 [臥薪嘗胆]</p> <p>【知識及び技能】 ・漢文の構造と訓読の方法について理解する。 ・音読を繰り返して訓読に慣れる。 ・「臥薪嘗胆」という言葉の意味と由来を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・出来事についての「父」と「人皆」の反応が異なること及びその理由について理解する。 ・頻出する漢文の基本構造について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文を学習する意義を認識する。 ・登場人物や時代背景に注意しながら内容を理解する。</p>	<p>① 故事成語 ・書き下し文の方法。 ・漢文の構造と訓読の方法。 ・漢文の文脈理解。</p> <p>② 臥薪嘗胆 ・訓読。 ・言葉の意味と由来の理解。 ・内容理解。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>		<p>【知】 漢和辞典の使い方を理解している。 【知】 送り仮名の原則や主な返り点の決まりについて理解している。 【知】 書き下し文の決まりや置き字について理解している。 【知】 漢文に特有の語や、否定形の句形について、その読みと意味を理解している。 【知】 「臥薪嘗胆」という言葉の意味と由来を理解している。 【思】 書き下し文を参照しながら、漢文を正しく音読している。 【思】 訓点に従い、置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を正しく書き下し文に改めている。 【思】 置き字や再読文字、返読文字の用法に注意しながら、漢文を現代語訳している。 【思】 漢字の読みや訓読の決まりに注意して、正しく訓読している。 【思】 脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】 場面と登場人物の言動を整理し、夫差及び子胥の判断について自分の考えを述べている。 【能】 範読を聞き、書き下し文を参考にして、積極的に音読している。 【能】 日常使う漢語、格言、成句の意味を漢和辞典で調べ、その由来を調べている。 【能】 返り点や書き下し文の決まりに則って、漢文を書き下し文に改める練習を繰り返し行っている。 【能】 「臥薪嘗胆」という言葉の意味と由来を漢和辞典を用いて調べている。 【能】 子胥及び夫差の判断について、周りの意見に耳を傾けながら積極的に話し合っている。</p>			7	
<p>定期考査</p>						1	
<p>H 『平家物語』 [木曾の最期]</p> <p>【知識及び技能】 ・正しく音読し、語注を参考にして現代語訳ができるようにする。 ・係り結び、音便、敬語など文法事項への理解を深め、古文の内容を正確に把握する力を養う。 【思考力、判断力、表現力等】 ・軍記物語の表現上の特色を理解し、優れた表現に親しむ。 ・物語の内容を理解し、登場人物の行動や心情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生き生きと音読し、語り物としての作品の魅力を味わう。</p>	<p>『平家物語』 「木曾の最期」 ・音読、現代語訳。 ・係り結び、音便、敬語など文法事項。 ・内容把握。 ・軍記物語の表現上の特色理解。 ・登場人物の行動や心情読み取り。 ・平曲を鑑賞する。</p> <p>☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。</p>		<p>【知】 全文を正しく音読している。 【知】 重要古語の意味を理解している。 【知】 係り結びについて理解している。 【知】 音便について理解している。 【知】 敬語表現の種類や用法について理解している。 【知】 「平家物語」について、文学史的知識を身につけている。 【思】 脚注を参照しながら、本文を正確に現代語訳している。 【思】 文体の特徴を理解しながら、生き生きと音読している。 【思】 全体の構成や展開に注意し、内容を正確に読み取っている。 【思】 『畠園精舎』冒頭の文章に表れている思想を理解し、作者の意図を的確に読み取っている。 【思】 『木曾の最期』登場人物の心情を話の展開に即して的確に読み取り、木曾義仲と巴の結びつき、義仲と今井四郎の結びつきとを、比較・対照しながら理解している。 【能】 範読を参考にしながら、積極的に音読している。 【能】 重要古語の意味を古語辞典を用いて調べている。 【能】 源平の合戦をめぐる時代状況について関心を持ち、調べている。 【能】 武士の装束、武器と戦のありさまなどについて関心を持ち、調べている。</p>			8	

学期 I 漢詩 五言律詩／七言律詩 「送元二使安西」 「送友人」 【知識及び技能】 ・ 杜甫、李白について、文学史的知識を持つ。 【思考力、判断力、表現力等】 ・ 漢詩の簡潔な表現に込められた内容や情感を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・ 律詩を音読し、それぞれの詩のリズムを味わう。	「送元二使安西」 「送友人」 ・ 音読。 ・ 内容や情感を理解。 ・ 律詩の表現形式。 ・ 杜甫、李白について。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	【知】 絶句・律詩の形式を理解している。 【知】 各詩の詩形・押韻を正確に理解している。 【知】 それぞれの詩の対句表現について、何と何が対照されているか、正確に理解している。 【知】 漢文に特有な語について、その読みと意味を理解している。 【知】 各詩に登場する地名について、その位置関係を理解している。 【知】 作者の生涯について文学史的な知識を持っている。 【思】 漢詩のリズムを意識しながら、正確に音読している。 【思】 脚注を参照しながら、正確に現代語訳している。 【思】 対句の構成を的確に捉えている。 【思】 詩に込められた心情を的確に捉えている。 【態】 範読を参考にして、積極的に音読している。 【態】 押韻・対句、語句の意味などを漢和辞典を活用して調べている。 【態】 詩中に登場する地名について、地図で位置を確認している。 【態】 作者の生涯について調べ、詩の内容への理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	定期考査		○	○		○	○	○

飛鳥 高等学校 令和8年度（2年次用）教科 国語 科目 論理国語

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2 単位

対象学年組：第2年次 1組～6組

使用教科書：（探求論理国語（桐原書店））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 評論Ⅰ 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理展開が明確な評論文の読解を通して、論理展開を丁寧にたどる姿勢と力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 ・「ともに生きる」ことについて、自分自身のあり方も踏まえて理解を深める。	教材：『いのちは誰のものか？』 鷲田清一、〈知〉の深化『晴れた空の下で』 江國香織 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深め、積極的に活用している。(1)エ 【知】主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深め、自らの主張に積極的に取り入れている。(2)ア 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を正確に把握している。(1)ア 【思】関連する文章を基に、書き手の立場や目的を考えながら、内容の解釈を多角的に深めている。(1)オ 【態】本文の内容を踏まえて「いのちは誰のものか」について話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	10
	一学期中間考査									
	B 単元 論文を読む 【知識及び技能】 ・論文の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を捉え、変身について筆者の考えを把握する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論文の内容をきっかけとして、小説「山月記」に関心を抱く。	教材：『変身に伴う快楽と恐れー「山月記」を通じて』 宮原浩二郎 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながる要旨を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	10
一学期期末考査										
C 単元 評論Ⅳ 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・心とは何かについて理解を深める。	教材：『ロボットは心を持つか』 黒崎政男 『そもそも心とは何か』 石黒浩 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。(1)ウ 【思】情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠を確実にそろえている。(1)イ 【態】本文内容の正しい理解を踏まえて、心とは何かということについての筆者の考えを収集し、読み手を意識しながらわかりやすく丁寧にレポートにまとめようとしている。	○	○	○	10	

2 学 期	D 単元 境界をこえて 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文学においてのみ「見えぬものを見る」ことが可能になるという筆者の主張を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・文学における「境界」の意味について思索を深める。	教材：『見えぬものを見るということ』 浅田次郎 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・もの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。(1)ウ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。(1)ア 【態】本文内容の正しい理解を踏まえて、「見えぬものを見る」文学の働きについて多角的に考察し、読み手を意識しながらわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	○	○	○	10
	E 単元 評論Ⅲ 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文理解に欠かせないキーワードを見つけ、内容を的確に理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・具体例の働きを理解して、論旨や筆者の主要な見解をつかむ。	教材：『現実・相貌・物語』 野矢茂樹 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・もの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。(1)ウ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。(1)ア 【態】本文内容の正しい理解を踏まえて、言語と物語の関係についての筆者の主要な見解をわかりやすく丁寧にまとめようとしている。	○	○	○	10
	二学期中間考査									
3 学 期	F 単元 論文を読む 【知識及び技能】 ・論文の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・論理の展開を捉え、「こころ」における「先生」の淋しさの本質について理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 ・論文の内容をきっかけとして、小説「こころ」に関心を抱く。	教材：『淋しい人間―「こころ」を通じて』 山崎正和 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・もの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	10
	二学期期末考査									
3 学 期	G 単元 評論Ⅴ 【知識及び技能】 ・評論の読み方を習得する。 ・長文の評論を読み、二項対立を基本とした論構成を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「民主主義」「自由」「近代化」など、普遍的なテーマへの理解を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 ・日本の近代化の特質とその問題点を論じた内容を、現代の課題として捉え直す。	教材：『「である」ことと「する」こと』 丸山真男 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・もの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辞を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】文や文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について十分に理解し、工夫を凝らして活用している。(1)ウ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を正確に把握している。(1)ア 【態】本文の内容を踏まえて、「民主主義」や「自由」について考え、現代日本に必要なことはどういうことかについて話し合い、自分の考えを深めるとともに、話し合いを経て考えたことを的確にまとめようとしている。	○	○	○	10
	三学期学年末考査		○	○	○		○	○	○	合計 70

飛鳥 高等学校 令和8年度（2年次用） 教科 国語 科目 古文講読2

教科：国語 科目：古文講読2 単位数：2 単位

対象学年組：第 2年次 1組～ 6組

使用教科書：（高等学校精選古典探究（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 古文講読2 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・書	読							
1 学 期	A 単元：歌物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語における和歌の役割を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。	教材：初冠（伊勢物語） ・それぞれの歌について修辞法を確認する。 ・「男」が着ていた「狩衣の裾」を切り取って歌を書いたのはなぜか、考える。 ・「かくいちはやきみやび」とは「男」のどのような言動を指して言ったものか、説明する。 ・「春日野の……」の歌と「みちのくの……」の歌の類似点・相違点を考える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ 【思】 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A(1)エ〕 【態】 粘り強く「春日野の…」歌と「みちのくの…」歌を比較し、学習課題に沿って類似点・相違点を整理しようとしている。	○	○	○	8
	B 単元：随筆(一) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。また、文章に描かれている観念性・抽象性の高い内容を、構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 「枕草子」の随想的章段・類聚的章段・日記的章段におけるそれぞれの特色を理解させる。 定期考査	教材：すさまじきもの（枕草子） ・第二段落では、何が「すさまじきもの」とされているか、まとめる。 ・「ゆるぎありきたるも、いとをかし。すさまじげなり」とはどういうことか。説明する。 ・現代語「すさまじい」の意味を調べ、古語「すさまじ」からの意味変遷の歴史をまとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 「すさまじ」の意味変遷の歴史について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	○	○	○	6
	C 単元：説話 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話が示す教訓性について考察させる。	教材：小式部内侍が大江山の歌の事（古今著聞集） ・「丹後へ遣はしける人は参りたりや」とは、どのようなことを言おうとしたのか説明する。 ・「大江山……」の歌で、小式部内侍が伝えようとしたことを説明する。 ・「返歌にも及ばず、袖を引き放ちて、逃げられけり」とは、誰がなぜそのようにしたのか説明する。 ・「大江山」はどのような教訓を示すために収録されていると考えられるか話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2〕イ 【思】 「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A(1)ウ〕 【態】 積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	8
	D 単元：随筆(二) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取る。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。 定期考査	教材：ゆく河の流れ（方丈記） ・「世の中にある人と栖と、またかくのごとし」について、「人と栖」が何とどのように同じなのか、説明する。 ・「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1〕エ 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。	○	○	○	4

2 学 期	E 単元:日記文学(一) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 回想日記の特質を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。	教材：うつろひたる菊（蜻蛉日記） ・作者の感情が表れている箇所を抜き出し説明する。 ・歌の解釈。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	○	○	○	○	8
	F 単元:日記文学(一) 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 日記を読んで、登場人物の行動や心理を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 回想日記の特質を知って、平安時代の文学への関心を高めさせる。	教材：東路の道の果て（更級日記） ・物語を読みたいと思う気持ちが表れている表現を順に抜き出す。 ・「人知れずうち泣かれぬ」という作者の気持ちを説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査									
2 学 期	G 単元:物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、平安時代の物語文学への理解を深めさせる。	教材：光源氏誕生（源氏物語） ・帝が「桐壺の更衣」を寵愛することに対し、まわりの人々はどう思ったか、説明する。 ・「一の皇子」と「玉の男皇子」とに対する帝の接し方の違いを説明する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	○	○	○	○	8
	H 単元:物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 「源氏物語」の内容や構成に関心を持ち、平安時代の物語文学への理解を深めさせる。	教材：若紫（源氏物語） ・「生ひ立たむ……」と「初草の……」の歌について、「若草」「露」「初草」が何をたどっているか、それぞれの歌は何を訴えようとしているか、説明する。 ・光源氏は「女子」のどこに興味をひかれているのか、説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	○	○	○	○	8
	定期考査									
3 学 期	I 単元:歴史物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について考察させる。	教材：花山天皇の出家（大鏡） ・「さり」と「さる」が指す内容を説明する。 ・花山天皇の出家はどのように行われたのか、道兼の行動に注意しながらまとめる。 ・花山天皇と道兼の人物像をまとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	○	○	○	○	8
	N 単元:歴史物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 歴史物語を読んで、登場人物の行動や心理を、話の展開に即して読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について考察させる。	教材：弓争ひ（大鏡） ・道長と伊周はそれぞれどのような人物として描かれているか、まとめる。 ・道隆が、「色青く」なったり、「な射そ」と言ったりした理由を考える。 ・「いま二度延べさせ給へ」という発言の真意はどこにあるのか、話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することができる。	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査									
			○	○	○					合計 70

飛鳥 高等学校 令和8年度（2年次用）教科 国語 科目 古典探究

教科：国語 科目：古典探究 単位数：4 単位

対象学年組：第2年次 1組～6組

使用教科書：（高等学校精選古典探究（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 古典探究 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
B 単元：随筆 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読みとらせ、文章に描かれている観念性・抽象性の高い内容を、構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 各作品におけるそれぞれの特色を理解させる。	「二月つごもりごろに」（枕草子） 「飛鳥川の洲瀬」（徒然草）など ・「宰相の御いらへを……心一つに苦しきを」について、ここで作者が配慮していることは何か。説明する。 ・「なほ内侍に奏してなさむ」とは、誰をどのように評しているのか。説明する。 ・何について「無常」としているのか、前半と後半に分けて考え、説明する。 ☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】語彙について進んで調べ、学習の見通しをもって本文理解を深めようとしている。	○	○	○	10
C 単元：故事 【知識及び技能】 ・「知音」「呉越同舟」という言葉の意味と由来を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自らの考えを広げ、深めさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・比較的短い文章を読み、漢文を読む楽しみを味わわせる。 ・故事や寓話に込められた古代中国人のものの見方・考え方を会得させる。	「知音」（呂氏春秋）「呉越同舟」（孫子）など ・訓読で教材を朗読する。 ・音読みによる直読で教材を朗読する。 ・口語訳で教材を朗読する。 ・二種類の朗読から受ける印象の違いを話し合う。 ☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。	○	○	○	【知】時間の経過による言葉の変化や、古典が現代の言葉の成り立ちにもたらした影響について理解している。〔2ウ〕 【思】「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)ク〕 【態】朗読から受ける印象の違いを話し合う活動において、積極的に話し合いに参加している。	○	○	○	12
A 単元：歌物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 歌物語における和歌の役割を知り、平安時代の文学への関心を高めさせる。	「渚の院」「小野の雪」（伊勢物語）など ・それぞれの歌について修辞法を確認する。 ・本文と和歌の関係や登場人物の心情について考え、説明する。 ☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A(1)エ〕 【態】和歌について学び、本文や登場人物との関係について整理しようとしている。	○	○	○	6
D 単元：説話 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握させ、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に説話が示す教訓性について考察させる。	「小式部内侍が大江山の歌の事」（古今著聞集）など ・「丹後へ遣はしける人は参りたりや」とは、どのようなことを言おうとしたのか説明する。 ・「大江山……」の歌で、小式部内侍が伝えようとしたことを説明する。 ・「返歌にも及ばず、袖を引き放ちて、逃げられけり」とは、誰がなぜそのようにしたのか説明する。 ・「大江山」はどのような教訓を示すために収録されていると考えられるか話し合う。 ☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】「読むこと」において、必要に応じて書き手の考えや目的、意図を捉えて内容を解釈するとともに、文章の構成や展開、表現の特色について評価している。〔A(1)ウ〕 【態】積極的に説話が示す教訓性について考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	5

1 学期

	<p>M 単元：項羽と劉邦</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「四面楚歌」に至るまでの経緯を理解させる。 ・中国の歴史叙述の基本形である紀伝体のスタイルについて理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高めさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史に残る名場面を迫力ある表現で描いた史伝の魅力を味わわせる。 	<p>「鴻門之会」（史記）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「鴻門之会」を読み、項羽と沛公の人間性について考察する。 <p>☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。</p>	○ ○ ○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1イ〕</p> <p>【態】本文から読みとった項羽の人物像をふまえて、作中の行動の経緯・理由を粘り強く考察し、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。</p>	○ ○ ○	10
	<p>E 単元：随筆</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や心情を読みとらせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。</p>	<p>「ゆく川の流れ」（方丈記）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「世の中にある人と栖と、またかくのごとし」について、「人と栖」が何とどのように同じなのか、説明する。 ・「無常」に対する作者の考えについて、説明する。 <p>☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。</p>	○ ○ ○	<p>【知】古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1エ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1イ〕</p> <p>【態】進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えを説明しようとしている。</p>	○ ○ ○	12
2 学 期	<p>H 単元：中国の詩</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者の生涯やこの詩が作られた背景について理解させる。 ・詩の形式と、押韻・対句などの技巧を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・詩句に込められた作者の心情を把握させる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者が詩で描いた思いについて、話し合いを通して考えを深める。 	<p>「九月九日憶山東兄弟」（王維）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単元内の教材の学習をふまえて、漢詩の規則を確認する。 ・各漢詩の内容を把握するとともに、漢詩に込められた心情を理解する。 ・季節や学校生活等をテーマとした絶句作品を作る。 <p>☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。</p>	○ ○ ○	<p>【知】古典の作品や文章に表れている、言葉の響きやリズム、修辞などの表現の特色について理解を深めている。〔1エ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、構成や展開などを的確に捉えている。〔A1ア〕</p> <p>【態】漢詩の創作に粘り強く取り組んでいる。</p>	○ ○ ○	16
	<p>G 単元：物語</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読みとらせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>「源氏物語」の内容や構成に関心をもち、平安時代の物語文学への理解を深めさせる。</p>	<p>「光る君誕生」「若紫」（源氏物語）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帝の桐壺の更衣への寵愛に対する、周囲の人々の反応を説明する。 ・兄と光源氏とに対する帝の接し方の違いを説明する。 ・帝・桐壺の更衣・弘徽殿の女御の人物像について考える。 ・若紫との出会いの場面について、状況を理解する。 ・なぜ若紫に惹かれるのか、藤壺との関係をふまえて源氏の心情を説明する。 <p>☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。</p>	○ ○ ○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、古典の作品や文章について、内容や解釈を自分の知見と結び付け、考えを広げたり深めたりしている。〔A1オ〕</p> <p>【態】登場人物の心情とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。</p>	○ ○ ○	16
	<p>M 単元：不思議な世界</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中国の小説による日本文化への影響を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長めの文章を読むことによって訓読の方法に習熟し、漢文の読解力を高めさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の内容をもとに、物語の解釈を自分なりに考察させる。 	<p>「売鬼」（搜神記）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鬼の特徴をまとめる。 ・宋定伯が鬼を売ることができた理由を話し合う。 <p>☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。</p>	○ ○ ○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1イ〕</p> <p>【態】本文から読みとった情報をふまえて、主体性をもって話し合いに参加しようとしている。</p>	○ ○ ○	12
	<p>E I 単元：日記文学</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日記を読んで、人間、文学、社会などに対する作者のものの考え方や感じ方を理解させる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・回想日記の特質を知って、女流日記文学への関心を高めさせる。 	<p>「うつろひたる菊」（蜻蛉日記）</p> <p>「日本紀の御局」（紫式部日記）</p> <p>「源氏の五十余巻」（更科日記）など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作者と兼家との間起こった出来事を時系列で整理する。 ・「嘆きつつ……」の歌の贈り方に込められた作者の心情について話し合う。 ・左衛門の内侍の行為について説明する。 ・左衛門の内侍の行為について、作者はどのように感じているか、またその理由についてまとめる。 ・源氏物語への憧憬について、作者の心情を説明する。 <p>☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することができる。</p>	○ ○ ○	<p>【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕</p> <p>【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A1イ〕</p> <p>【態】積極的に作者の心情をとらえ、学習の見通しをもって自分の考えを説明しようとしている。</p>	○ ○ ○	10

飛鳥 高等学校 令和8年度（2年次用） 教科 国語 科目 文章表現

教科：国語 科目：文章表現 単位数：2 単位

対象学年組：第2年次 選択科目

使用教科書：（なし）

副教材：（筑摩書房「ちくま小説入門改訂版」筑摩書房「中学生のための文章読本」京都書房「基礎からの国語表現の実践2訂版」）

教科 国語

の目標：

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 文章表現

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身につける。	論理的に考える力や深く共感する力、豊かな想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、伝え合う力を高める。	言葉の価値への認識を深め、生涯にわたって読書により自己を向上させ、日本の言語文化に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
長田弘「世界は一冊の本」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また詩の効果的な組み立て方や接続の仕方についてその構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 比喩など作者の使用する表現技法を的確に理解し、作者の思いを読み取り、考えを深める。 表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。	指導項目・内容 ・さまざまな比喩を見つける。 ・修辭法について理解する。 ・読書の楽しみについて考える。 ・フィクションとノンフィクションの違いについて理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 作品中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 比喩など修辭を理解し、適切に使用することができる。 表現の仕方を工夫して自分の考えを的確に伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけている。	○	○	○	2
仮名づかい・送り仮名・同音異義語 【知識及び技能】 正しい仮名づかい・送り仮名・同音異義語の使い分けを身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・発音どおりに表記するなどの原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・同音異義の漢字と意味を理解し、身につける。	○	○		【知識及び技能】 正しい仮名づかい・送り仮名・同音異義語の使い分けを身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	1
小説への招待・小説の読解 【知識及び技能】 人物の把握、舞台の設定、人称と語り手、文体、セリフと地の文などについて確認する。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物の心情の変化、人物相互の関係等の読み取りの重要性を知る。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容の解釈を踏まえて作中人物の心情や行為を積極的に捉えようとする。	指導項目 ・作中人物の行動や心理をもとにストーリーの展開を捉える。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・比喩などの修辭を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○		【知識及び技能】 人物の把握、舞台の設定、人称と語り手、文体、セリフと地の文などについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物の心情の変化、人物相互の関係等の読み取りの重要性を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容の解釈を踏まえて作中人物の心情や行為を積極的に捉えられる。	○	○	○	4
上橋菜穂子「物語ること、生きること」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 副教材の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、構成の仕方を工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝える。	指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 副教材の課題について、本文の要旨を的確に伝え、読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開、構成の仕方を工夫できる。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを書いて伝えられる。	○	○	○	3

1 学 期	<p>同訓異字・類義語・慣用表現 【知識及び技能】 同訓異字・類義語・慣用表現を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目 ・同訓異字の使い分けを理解し、身につける。 ・類義語について理解し、身につける。 ・慣用表現の意味を理解し、身につける。</p>	○	○	<p>同訓異字・類義語・慣用表現 【知識及び技能】 同訓異字・類義語・慣用表現を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	○	1	
	<p>星新一「ボッコちゃん」 角田光代「ふたり」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、またショートショート・短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 作品のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。ショートショートを書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、またショートショートの物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ショートショートのテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。ショートショートを書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
	<p>瀧本哲史「ナイチンゲールと統計学」 岡田美智男「弱いロボット」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	4
	<p>正しい敬語・文の乱れ・推敲 【知識及び技能】 正しい敬語・文の乱れへの注意・推敲の仕方を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目 ・敬語の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 正しい敬語・文の乱れへの注意・推敲の仕方を身につけた。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書けた。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できた。</p>	○	○	○	1	
	<p>文を短く・的確な表現・文体への意識 【知識及び技能】 文を短くする・的確な表現・文体を意識する態度を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目 ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 文を短くする・的確な表現・文体を意識する態度を身につけられる。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	○	1	
	<p>稲葉真弓「唇に小さな春を」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	3
	<p>徳村弘「麦わら帽子のへこみ」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合わせる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	3

<p>半村良「箒笥」 小池昌代「どよどよ」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
<p>文の役割・要約・接続詞 【知識及び技能】 文の役割、要約する技術、接続詞の使い分けを身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目 ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。</p>	○	○		<p>【知識及び技能】 文の役割、要約する技術、接続詞の使い分けを身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	○	1
<p>郡司芽久「キリン解剖記」 伊藤亜紗「体、この不気味なもの」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	4
<p>段落分け・主題・構想・書く 【知識及び技能】 文章作成の実際について技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。</p>	<p>指導項目 ・文章表現の原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・文の乱れと修正方法を理解し、身につける。</p>	○	○		<p>【知識及び技能】 文章作成の実際について技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。</p>	○	○	○	1
<p>中村文則「郵便局で」 小川洋子「ひよこトラック」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4
<p>水野敬也「顔ニモ負ケズ」 オードリー・ダン「ジェンダーから自由になる」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深める。この表論文について話し合う。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。</p>	○	○	○	4
<p>萩尾望都「柳の木」 吉本ばなな「満月」 【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につける。</p>	<p>指導項目 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・文章に含まれている情報を関係づけながら、内容を解釈する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・文章の効果的な接続の仕方を理解する。 ・読書の意義と効用を理解する。</p>	○	○	○	<p>【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 短編のテーマを読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけた。</p>	○	○	○	4

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第3年次 1組～6組

使用教科書：（探求論理国語（桐原書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】

「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】

言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 論理国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 評論Ⅰ 【知識及び技能】 ・二項対立による比較対照に着目し、評論の読み方に習熟する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・視覚でものを捉えるときの感覚的喜悦を理解する。【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の主張を踏まえて、自分自身が芸術に触れる際の感性を磨く。	教材：『オブジェとイメージ』高階秀爾 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された絵画作品等に関心をもち、調べたり鑑賞したりしている。	○	○	○	7
	B 単元 評論解析C 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的な表現から文脈を捉え、論理の展開や筆者の主要な見解をつかむ。	教材：『権力にまつわる「秘密」』宣野稔人 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	5
	一学期中間考査									1
	C 単元 評論Ⅲ 【知識及び技能】 ・評論の基本的な読み方を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・本文中の対比関係に注目して、論理構造や筆者の主要な見解をつかむ。 【学びに向かう力、人間性等】 ・効果的な表現から文脈を捉え、論理の展開や筆者の主要な見解をつかむ。	教材：『言葉の〈意味〉と〈表徴〉』中村雄二郎 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 ・常用漢字を文や文章の中で活用する。 ・語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 ・例示などの修辭を理解する。 ・主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句を習得し、文章の中で積極的に活用している。(1)イ 【思】内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしなが重要を正確に把握している。(1)ア 【態】論理の展開に沿って筆者の主張を正しく理解し、わかりやすくまとめようとしている。また、引用された小説の内容に関心をもち、調べたり読んだりしている。	○	○	○	10

飛鳥 高等学校 令和8年度（2年次用） 教科 国語 科目 現代文基礎

教科：国語 科目：現代文基礎 単位数：2 単位

対象学年組：第2年次 1組～6組

使用教科書：（なし）

教科 国語 の目標：

副教材： 数研出版「国語常識・作文ステップアップ」 数研出版「文構造確認ノート」

- 【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
- 【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 現代文基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の常識や文章を書く技能を身につける。	論理的に考える力や深く共感する力、豊かな想像力を伸ばし、言語感覚を磨き、伝え合う力を高める。	言葉の価値への認識を深め、生涯にわたって読書により自己を向上させる態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
漢字・熟語の読み書き 【知識及び技能】 正しい漢字・熟語を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・発音どおりに表記するなどの原則を理解し、身につける。 ・原則から外れる例外について理解し、身につける。 ・同音異義の漢字と意味を理解し、身につける。	○	○		【知識及び技能】 正しい漢字・熟語を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	6
言葉の単位・文節の働き 【知識及び技能】 言葉の単位・文節について正しい知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・文節に分けて考え、適切な文を書く。 ・適切な文を書くことで、適切な文章を書く。 ・主語・述語など文節どうしの関係を理解する。	○	○		【知識及び技能】 言葉の単位・文節について正しい知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	5
定期考査						○	○		1
漢字・ことわざ・慣用句・故事成語の読み書き 【知識及び技能】 正しい漢字・ことわざ・慣用句・故事成語を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・常識レベルのことわざ・慣用句・故事成語を覚える。 ・ことわざ・慣用句・故事成語を使って、正しい文が書ける。	○	○	○	漢字・ことわざ・慣用句・故事成語の読み書き 【知識及び技能】 正しい漢字・ことわざ・慣用句・故事成語を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	5
文節の働き・連文節 【知識及び技能】 言葉の単位・文節について正しい知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・文節に分けて考え、適切な文を書く。 ・適切な文を書くことで、適切な文章を書く。 ・主語・述語など文節どうしの関係を理解する。	○	○		【知識及び技能】 言葉の単位・文節について正しい知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	5
定期考査									1
主語述語・修飾語・並立の用法 【知識及び技能】 主述の対応・修飾語の用法・並立の用法について正しい知識を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書く。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用する。	指導項目 ・文節に分けて考え、適切な文を書く。 ・適切な文を書くことで、適切な文章を書く。 ・主語・述語など文節どうしの関係を理解する。	○	○		【知識及び技能】 主述の対応・修飾語の用法・並立の用法について正しい知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 文の構造を理解し、正しい表記で文を書ける。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい表記を理解し、学習課題に沿って使用できる。	○	○	○	11
定期考査						○	○		1

飛鳥 高等学校 令和8年度（3年次用） 教科 国語 科目 古文講読3

教科： 国語 科目： 古文講読3 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3年次 1組～ 6組

使用教科書：（『高等学校精選古典探究』（第一学習社））

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。

科目 古文講読3 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
			話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元：随筆 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明させる。	教材：二月つごもりごろに（枕草子） ・「宰相の御いらへを……心一つに苦しきを」について、ここで作者が配慮していることは何か、説明する。 ・「なほ内侍に奏してなさむ」とは、誰をどのように評しているのか、説明する。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
	B 単元：評論 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論を読んで、筆者の物語やその作者に対する筆者の評価や批判を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	教材：清少納言と紫式部（無名草子） ・清少納言が地方に落ちぶれたことについて、筆者はなぜそう思ったと考えているか、まとめる。 ・紫式部が『源氏物語』を執筆する経緯について、どのように述べられているか、まとめる。 ・筆者は紫式部をどのような人物と捉えているか、まとめる。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査						○	○	○	
	C 単元：随筆 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加させる。	教材：宮に初めて参りたるころ（枕草子） ・三つの段落について、出仕して間もない作者の心境がどのように述べられているかまとめる。 ・出仕して間もない作者に対して、中宮はどのような心遣いをしているか話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4
	D 単元：随筆 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や展開を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加させる。	教材：雪のいと高う降りたるを（枕草子） ・「御簾を高く上げたれば、」という行為が、中宮の課題にどのように答えたことになるのかまとめる。 ・『枕草子』と『十訓抄』の記載の違いについて話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に他の文章と読み比べ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4
	E 単元：日記文学 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 話の構成や天下を把握し、登場人物の行動や心理を捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加させる。	教材：若宮誕生（紫式部日記） ・道長の様子を読み取り、若宮に寄せる道長の心情についてまとめる。 ・作者は、水鳥と自分を比較してどのような感慨を持ったのか話し合う。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	4
	定期考査						○	○	○	
F 単元：説話 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 物語を読んで、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。	教材：袴垂、保昌に会う事（宇治拾遺物語） ・袴垂と保昌の行動について笛に関する記述で区切りながらまとめる。 ・袴垂と保昌はお互いをどのように評価しているかについて話し合う。 ・会話中の敬語を整理し、敬語を用いた心理について考える。 ☆題材は、生徒の現況を踏まえて変更することがある。	○	○	○	【知】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔2イ〕 【思】 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 【態】 敬語の効果について考察し、今までの学習を生かして調べたことをまとめようとしている。	○	○	○	2	

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 古典探究

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通した先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数	
		話・聞	書	読						
1 学 期	A 単元：随筆(一) 【知識及び技能】 ・日記的章段の特色を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文章の内容を構成や展開に即して的確に捉えさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・随筆を読んで、自然、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。	「御方々、君たち」「雪のいと高う降りたるを」(枕草子)など ・作者が中宮とのやりとりを「をかし」と受け止めた理由について話し合う。 ・中宮からの問いかけに、どのように答えたことになるのか説明する。 ☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 【態】周囲の女房たちの心情について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	○	○	○	14
	B 単元：評論 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 随筆を読んで、人間、社会などに対する作者の思想や感情を読み取らせる。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って作者の考えをまとめさせる。	「深草の里」(無名抄)「本歌取り」(毎月抄)など ・本文を、俊恵から作者に対する三つの発言に分け、まとめる。 ・定家の説く本歌取りの方法を各段落から読みとり、どのように述べられているか、まとめる。 ☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 【態】積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	12
	C 単元：説話 【知識及び技能】 ・逸話の内容を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 「読むこと」において、古典の作品や文章を多面的・多角的な視点から評価することを通して、我が国の言語文化について自分の考えを広げたり深めたりさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・漢文を読む楽しみを味わわせる。 ・故事や寓話に込められた古代中国のものの見方・考え方を味わわせる。	「不顧後患」(説苑)「不若人有其室」(新序)など ・少儒子が呉王を説得するためにとった方法をまとめる。 ・少儒子の言葉から呉王が悟ったことを説明する。 ・子罕が「玉」を受け取らなかった理由を説明する。 ・宋国の長者が「室」をどのように捉えているか、まとめる。 ☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 【態】伯牙が琴を弾くことをやめた理由について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	○	○	○	12
	D 単元：物語 【知識及び技能】 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 長編物語を読んで、登場人物の行動や心情を的確に読みとらせる。 【学びに向かう力、人間性等】 「源氏物語」の内容や構成に関心をもち、平安時代の物語文学への理解を深めさせる。	「夕顔の死」「葵の上の出産」「女三宮降嫁」(源氏物語)など ・状況の不気味さを表現するために効果的に用いられている部分を指摘する。 ・物の怪が六条の御息所だと判明した後の光源氏の心情を説明する。 ・葵の上の詠歌に込められた思いを説明する。 ・光源氏と葵の上の心情の乖離をまとめ、葵の上の苦悩がどのようなものか、説明する。 ☆題材は、生徒の現況をふまえて変更することがある。	○	○	○	【知】古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。【2イ】 【思】「読むこと」において、文章の種類をふまえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。【A(1)イ】 【態】積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	○	○	○	14

飛鳥 高等学校 令和8年度（3年次用） 教科 国語 科目 文学国語

教科：国語

科目：文学国語

単位数：4 単位

対象学年組：第 3 年次 選択科目

（高等学校標準文学国語（第一学習社）

副教材：（パスポート国語必携（桐原書店））

教科 国語

の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉の効果的に使おうとしている。

科目 文学国語

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 また、我が国の言語文化に対する理解を深めている。	「書くこと」「読むこと」の各領域において、深く共感し豊かに想像する力を伸ばし、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通して他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めている。 また、読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもとうとする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
いしいしんじ「調律師のるみ子さん」 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開、場面設定や描写のしかた、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 作品意関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	指導項目・内容 ・本文からうかがえる人物像について考える。 ・作品中に登場するものが、物語の展開上でどういう意味を持っているか整理する。 ・本文中にある、ピアノの音を表現した部分について、主人公のどのような心理を反映しているか考察する。 ・老人のセリフや態度から、主人公の調律に何を求めていたかを話し合う。	○	○	○	【知識及び技能】 作品中の主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 抜き出したりまとめることで、内容を整理し、理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的にまとめたり発表したりすることができる。	○	○	○	10
芥川龍之介「鼻」 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、展開、場面設定の描写のしかた、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連する事項について調べ、その成果を文章にまとめたり等行う。	指導項目 ・主人公の人物や性格についてまとめる。 ・主人公の心情の移り変わりをまとめる。 ・主人公の周囲に対する態度が、鼻の長短でどのように異なるかをまとめる。 ・弟子たちの心情や態度を整理する。	○	○	○	【知識及び技能】 人物の把握、舞台の設定、人称と語り手、文体、時代背景などについて理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 作中人物の心情の変化、人物相互の関係等の読み取りの重要性を理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 作品内容を踏まえて作中人物の心情や行為を積極的に捉えられる。	○	○	○	10
原田マハ「真珠の耳飾りの少女」 【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、作品の解釈をする。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・絵を現実の人であるかのように表した表現を抜き出し、そこにこめられた筆者の気持ちを説明する。 ・絵と向き合った後の記述から、筆者の絵に対する解釈を整理する。 ・絵の特徴として、記述内容の相違について考える。 ・筆者の立場の違いについて考察する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な常用漢字や語句・語彙、また文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について、その構造や特色などを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 副教材の課題について、積極的に取り組み、語彙力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 書き手の意図を積極的に解釈し、それに対する自分の考えを発表できる。	○	○	○	10
1 学 期 定期考査						○	○		1
井上ひさし「ナイン」 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶとともに、人間や社会に対するものの見方、感じ方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 作者や作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・登場人物の今と昔の移り変わりや、人と街のあり方という二つの側面から整理する。 ・一人の発言から、周囲の登場人物はどのように受け止めたかをまとめる。 ・少年野球大会の決勝戦は、その後の人生にとってどのような意味を持っているのかを考え、発表する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また、物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 登場人物の気持ちを理解し、考えを深める。 【学びに向かう力、人間性等】 整理や発表に、積極的に取り組むことができる。	○	○	○	12

	志賀直哉「清兵衛と瓢箪」 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の解釈を踏まえて、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深める。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする方法を学ぶ。	指導項目 ・主人公が瓢箪に夢中になっている様子を示す挿話をまとめる。 ・冒頭と結末を除いた部分を四つの段落に分ける。 ・瓢箪の異なる価格を比べ、その理由について整理する。 ・主人公に対して教員と父が怒った理由をまとめる。 ・小説の冒頭と結末に、「今」の清兵衛を説明する文章が、物語上どのような効果があるかをまとめる。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 小説の登場人物の気持ちを整理し、考えを深められる。 【学びに向かう力、人間性等】 登場人物や展開を整理し、まとめたり発表したりする力をつける。	○	○	○	10
	谷川俊太郎「死んだ男の残したものは」 【知識及び技能】 我が国の言語文化の特質について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 作品に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉える方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめる。	指導項目 ・詩の音感とリズムに留意し、繰り返し音読する。 ・最初の三連のつながりを考慮しつつ、「残した」と「残さなかつたもの」の意味するところを説明する。 ・最初の三連と第四連との違いを指摘し、その理由を考える。 ・第五連と最終連に込められた思いを話し合う。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、またリズムや連のつながりについて、その特色を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 詩の内容を読み取り、考えを深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合った内容から、さらに自分の考えを深める。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		1
2 学 期	原民喜「夏の花」 【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法や解釈の多様性を考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連ある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・主人公が移動した経路を、当時の地図を参考に推測する。 ・主人公が目撃した光景について、場面ごとに整理する。 ・この小説が主人公の墓参りから始まり、「N」が妻を探す場面で終わっていることで、構成上の効果を考える。 ・この作品の描写の特徴をあげ、それがどのような効果を受けているか、話し合う。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 評論文のテーマを読み取り、考えを深められる。この表論文について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 効果的に書くための方法を積極的に理解し、表現の工夫を身につけられる。	○	○	○	12
	米原真理「バグダッドの靴磨き」 【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ものの見方、感じ方、考え方を深める姿勢を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連ある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・登場人物と心情の変化について、時間軸に沿ってまとめる。 ・さまざまなドルの金額はどのような意味を持つか。登場人物の立場の違いから整理する。 ・最後の発言から、「人」とは何を意味するかを考える。 ・小説内の「お客さん」の存在は、どのような効果を生み出しているか、話し合う。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 小説のテーマを読み取り、考えを深められる。この小説について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容理解のために整理したり、話し合いや発表に対して積極的に取り組める。	○	○	○	10
	角田光代「旅する本」 【知識及び技能】 文学的な文章の種類や特徴について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 内容を解釈する方法を学ぶとともに、解釈の多様性について考察する。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連ある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・登場人物と心情の変化について、時間軸に沿ってまとめる。 ・さまざまなドルの金額はどのような意味を持つか。登場人物の立場の違いから整理する。 ・最後の発言から、「人」とは何を意味するかを考える。 ・小説内の「お客さん」の存在は、どのような効果を生み出しているか、話し合う。	○	○	○	【知識および技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また評論の展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 小説のテーマを読み取り、考えを深められる。この小説について話し合える。 【学びに向かう力、人間性等】 内容理解のために整理したり、話し合いや発表に対して積極的に取り組める。	○	○	○	10
	定期考査						○	○		2
	江国香織「デューク」 【知識及び技能】 文学的な文章における文体の特徴や表現の技法を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 内容や構成、場面設定や描写の仕方、表現の特色などを的確に捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。 【学びに向かう力、人間性等】 作品に関連のある事項について調べ、その成果を文章にまとめたり発表したりする。	指導項目 ・時間軸に沿って主人公の行動を整理し、それぞれの場面で主人公の心情がどのように変化しているかをまとめる。 ・主人公が連れられて行ったプールでの出来事は、この作品の展開上どのような効果があるか。まとめる。 ・主人公の悲しみが表現されている部分をあげ、どういう悲しみがかを整理する。	○	○	○	【知識及び技能】 本文中に登場する主な語句・語彙、また短編の物語展開等について、その構造や特色を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 主人公の心情の変化や場面転換の理解を深める。作品について話し合う。感想を書いてみる。 【学びに向かう力、人間性等】 話し合いやまとめを積極的に行う。	○	○	○	10

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深め

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。	演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。	演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	A 単元 導入 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。	受信発信系、信頼協力系、洞察系、瞬発力発想系、創造系、各種シアターゲームで体と心をほぐし、マイズナーテクニックを行う準備、表現者になるための準備をする。 *各種シアターゲームは今後毎回授業の初めにウォーミングアップとして行う。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	14
	B 単元 マイズナーテクニックⅠ 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック（繰返し）を行い、自分の課題を認識し、それぞれのペースでその課題に立ち向かう。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	14
2 学期	C 単元 マイズナーテクニックⅡと台本 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック（繰返し）に新たな負荷（アクティビティ）を加えた繰返しを行う。台本を渡し読みし、セリフを覚える。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	9
	D 単元 マイズナーテクニックⅢと台本 【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。	各種シアターゲーム。マイズナーテクニック（繰返し）に新たな負荷（イマジナリーサーカムスタンス）を加えた繰返しを行い、台本の立ち稽古を行う。	【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。	○	○	○	9

	<p>E 単元 台本稽古</p> <p>【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。</p>	<p>各種シアターゲーム。マイズナーテクニック（繰返し）はウォーミングアップとして行い、台本稽古をメインに行う。</p>	<p>【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。</p>	○	○	○	10
3 学 期	<p>F 単元 本番</p> <p>【知識及び技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度を養う。</p>	<p>稽古の成果を発表する。</p>	<p>【知識・技能】 演劇の特性について理解を深め、それを生かし、演劇だけでなく、たくましく生きるために必要な技能（コミュニケーション力、表現力、工夫する力、折れない力）を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 演劇を通して、あらゆる個人や集団（自分も他者も）の可能性を信じ、追求する態度になっている。</p>	○	○	○	14
							合計
							70

飛鳥 高等学校 令和8年度（3年次用）教科 国語 科目 演劇論

教科：国語 科目：演劇論 単位数：2 単位

対象学年組：第3年次 1組～6組

使用教科書：（なし）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深め

科目 演劇論 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。	演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。	演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
1 学 期	A 単元 導入 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・呼吸法トレーニング ・発声法トレーニング ・身体表現トレーニング ・感情表現トレーニング ・演技トレーニング ・アクショントレーニング ・キャラクター作り ・セリフ作り ・シナプソロジーゲーム ・インプロゲーム ・演劇史			出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	14
	B 単元 実技課題Ⅰ 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・エチュード（即興劇・練習劇） ・演技メソッド ・台本劇			出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	14
2 学 期	C 単元 実技課題Ⅱ 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・各種トレーニング ・殺陣 ・剣術 ・立ち回り			出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	16
	D 単元 実技課題Ⅲ 【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。	・エチュード（即興劇・練習劇） ・演技メソッド ・台本劇			出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等 【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。 【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。	○	○	○	16

3 学 期	<p>D単元 実技課題Ⅲ</p> <p>【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各種トレーニング ・殺陣 ・剣術 ・立ち回り 			<p>出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等</p> <p>【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。</p>	○	○	○	10	
	<p>E単元 実技課題Ⅲ</p> <p>【知識及び技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力を育成する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度を養う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・エチュード（即興劇・練習劇） ・演技メソッド ・台本劇 			<p>出席・授業参加・授業態度・実技・レポート等</p> <p>【知識・技能】演劇の本質や根本に対する理解を深め、創造的な表現をするために身体及び様々な材料を活用する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】演劇を通して創造的な思考力、判断力、表現力が育成されている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】演劇をともに作っていく活動を通じて、社会で生きていくために必要な主体性を持って様々な人々と協働して学ぶ態度になっている。</p>	○	○	○	70	
									合計	